

事業所における自己評価結果【公表】

事業所名		まつぼっくり（保育所等訪問支援）		公表日		2025年3月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	100%	0%			
体制	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%			
	3	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者からのアンケートだけではなく、日々コミュニケーションの機会を多く取るようにしている。		
	4	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	訪問担当者だけではなく、事業所の療育会議などでも取り上げられる。		
	5	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	外部評価は行っていない。	外部評価が必要か、法人内で検討	
	6	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	85%	15%	非常勤職員の割合が多いため、外部研修への参加は積極的ではない分、法人内研修や事業所内研修の機会を多く持っている。	外部研修への参加を積極的に呼びかける	
適切な支援の提供	7	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100%	0%			
	8	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%	0%			
	10	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%			
	11	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%			
	12	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%			
	13	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%			
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%			
15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%				
16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100%	0%				
関係機関や保	17	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%			
	18	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%			
	19	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%			

護者との連携	20	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	90%	10%	研修に参加したり、専門家からの助言を受けている。	
	21	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	22	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	家族で参加できる催しや研修のお知らせを掲示・配布している。	
保護者等への説明等	23	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	24	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%	0%		
	25	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	26	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	27	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	28	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	50%	50%		父母の会はなく、きょうだい同士の交流の機軸は持っていないが、保護者の交流の機軸は年に数回持っている。しかし、保護者同士の交流を避けるような(職員に我が子の様子を聞きたいだけ)保護者もおり、塩梅が難しい。
	29	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	定期的に面談の機会を設けている。また、保護者の様子や連絡ノートなどの内容に応じて面談の声かけを行っている。	
	30	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	31	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報の取り扱いについては、契約時に説明し同意を得ている。写真等をお便り、SNSで使用する際は、あらかじめ許可をいただいた方のみ掲載するなどの配慮を行なっている。	
	32	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	コミュニケーションを気軽に取れるよう、些細なことでも声をかけ信頼関係を築くことを心がけている。	
訪問先施設への説明等	33	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%	0%		
	34	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	85%	15%	訪問先によって、会議形式を取って話をするができないこともあり、事後、電話などで伝え合うこともある。	
	35	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%	0%		
	36	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	37	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%	0%		
非常時等	38	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	39	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		

の 対 応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	施設内虐待はもちろん、虐待予防についても学んでいる。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	契約時に身体拘束についても説明し同意をもらっている。	